



おなかから背中が痛い

—もしかしたら^{すいぞう}膵臓の病気?—

指導：東北大学大学院医学系研究科消化器病態学 教授

下瀬川 徹

企画：
日本医師会

No. **353**

なんだか背中が痛い

おなかから背中にかけて変な感じがして痛い…。かといって筋肉痛でもない。

もしかすると膵臓^{すいぞう}の病気かもしれません。膵臓は長さ15cmほどのバナナ型の臓器で、胃の裏側にあるので、腹部から背中にかけての痛みが起こります。

あまり知られていませんが、膵臓は消化酵素である膵液を分泌し、一方でインスリン（血糖を下げるホルモン）などを分泌するという2種類の異なった、重要な働きをしています。

激痛に襲われる急性膵炎

膵臓の主な病気には急性膵炎、慢性膵炎、膵臓がんなどがありますが、腹部から背中に突き抜ける、立ってられないほどの激痛は急性膵炎で起こります。膵液がなんらかの原因で膵臓自体を消化してしまう病気ですが、膵臓のまわりには神経が多いため激痛となり、吐き気や嘔吐を伴います。

アルコールや脂っこい食物のとり過ぎなどが原因とされ、男性に多くみられます。軽症例では絶飲・絶食で軽快しますが、重症化すると命にかかわることもあり、注意が必要です。

兆候がほとんどない膵臓の病気も

慢性膵炎では背中への痛みはそれほどでもなく、膵臓がんの初期では腹部の重苦しさがあるくらいで、そのほかには便秘の不安定、食欲不振などの症状しかないため、早期発見が困難といえます。

働き盛りで、お酒を飲む機会が多く、脂っこい食事や肉が好きで、もし腹部や背中の痛み、違和感がずっとあったら、膵臓の病気の可能性もあります。一度、かかりつけの医師に相談するとよいでしょう。



急性膵炎、慢性膵炎、膵臓がんの主な症状・所見

病気	急性膵炎	慢性膵炎	膵臓がん
主な症状・所見	腹部から背中に貫通するような絶え間ない激しい痛み、吐き気・嘔吐など	腹部の慢性的な痛み、断続的に起こる中等度の急性膵炎に似た症状、便の異常（下痢、軟便、悪臭）、やせ、糖尿病など	初期症状として腹痛、背中への重苦しさ、便秘の不安定、食欲不振、血糖値の上昇など 進行すると ^{おうたん} 黄疸、腹部・背中の持続する痛み、吐き気・嘔吐、体重減少、腹水など